

日時 11月20日(水)午後1時～4時
場所 中央公民館 視聴覚室
実践紹介
 午後1時～ 日本山村硝子㈱のISO14001への取り組みについて
 午後2時～ 住友金属鉱山㈱のISO14001への取り組みについて
質疑応答 午後3時10分～4時
問い合わせ 産業生活課 ☎0794(35)2364

市民環境大学

環境マネジメント・システム (ISO14001) 講習会

組織内での環境改善システムとして、最近、話題になることが多い環境マネジメント・システム(ISO14001)の普及を図るために、既にISO14001を導入されている住友金属鉱山㈱と日本山村硝子㈱での取り組みについて、ご紹介いたします。播磨町内事業所のISO14001に関する知識の向上と情報交換を図っていききたいと思っておりますので、多くの事業所の方々の参加をお待ちしています。

参加申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。

ごみフォーラムから学ぶ

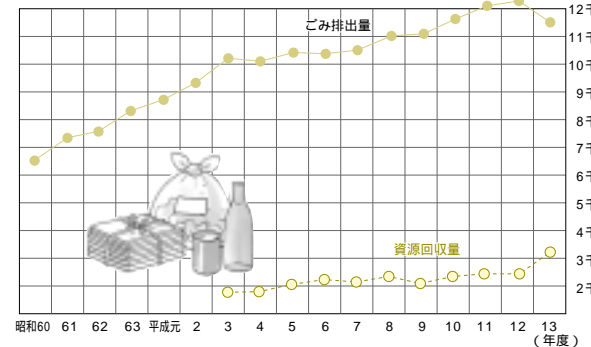
9月8日(日) 中央公民館において、50名の参加によるごみフォーラムが開催されました。フォーラムでは、増加する一方でのごみ処理費用の削減、ごみ焼却灰埋め立て用地の延命化、地球温暖化の原因である二酸化炭素の発生抑制などを図るため、兵庫県庁と相生市役所の職員を講師として招き、ごみを減らす方法について学びました。皆さんも一緒に考えませんか。



兵庫県庁西岡信行氏の話に聞き入る参加者

兵庫県の「ごみ減量」に対する考え方
 (兵庫県環境整備課 西岡 信行氏)
 兵庫県では、廃棄物の減量とリサイクルを推進するため、平成十三年五月に『ひょうご循環社会ビジョン』を、また、平成十四年三月には『兵庫県廃棄物処理計画』を策定し、この中で、最終処分量を半分にすることを目標として、ごみを「つくり出す」「出さない」「いわゆる「5R生活」の実現に向けた取り組みを推進し、持続可能な循環型社会の実現を目指しています。取り組み内容は、次の通りです。ごみを出さないライフスタイルの実践、家庭内リサイクルの推進による発生量の抑制、消費行動を通じた事業者などへの働きかけ、ごみ処理の有料化や指定袋制による処理費用等の負担

年間ごみ排出量と資源回収量の推移



また、現在、ごみを燃やした後の焼却灰は、神戸沖に埋め立てしていますが、埋め立てができる期間は平成二十二年度までの予定で、ごみ排出量を減らすことにより、この埋め立て期間を延長することができません。

播磨町の「ごみ処理」の現状

(町産業生活課職員)

昨年度一年間に私たちが出したごみ量は一万一千六百トンであり、これを処理するために四億四千万円のお金が必要でした。ごみ発生源の内訳は、家庭ごみが七割、残りの三割が事業系ごみです。さらに、家庭ごみをさらに種類別に分類すると、可燃ごみが七十五パーセントを占め、最も多く、その中味の五割は紙類で、プラスチック類が三割、残りの二割が生ごみ、木竹などです。よって、ごみの排出量を減らすには、可燃ごみに混入して出されている紙類とプラスチック容器類を減らす、あるいは資源ごみとして分別回収することが大変重要です。

相生市での「ごみ処理」の現状

(相生市環境課 原田 耕三氏)



相生市環境課 原田 耕三氏

相生市は、ごみの分別を九種類に分けて収集することにより、ごみの減量と資源のリサイクルを行って来ましたが、平成十年十月から、分別数を十七種類に増やし、さらに、「ごみ減量と資源の再生利用を促進し、『受益者負担の原則』を「ごみ処理に採用、負担の公平化を図るため、家庭ごみ(可燃ごみ・粗大ごみ・不燃ごみ)については、指定袋制(指定シール制)によるごみ処理の有料化に変更しました。

ただし、資源ごみは、分別を誘導するために無料のまま据置きとしました。その結果、有料化導入前には、年間一万二千トンであったごみ量が、平成十一年度には年間八千三百トンと三割以上の減少となり、また、資源ごみ量は逆に二割増加し、ごみの減量と資源の分別を大きく推進できました。



相生市可燃ごみ指定袋



粗大ごみ指定シール



ごみ焼却施設制御盤を操作中

(良かったこと)

外部の審査機関による審査を受けるため透明性が増し、塵芥処理センターで働く職員一人ひとりの役割が明確となり、また、職員同士のコミュニケーションが図られることにより、施設運営がより円滑になった。これまで以上に、環境負荷の低減を図ることができた。

(大変だったこと)

業務の全てを記録することが求められているため、事務量が増えた。定期的に職員の研修が義務付けられているため、仕事量が増えた。小さな組織であり、専任体制がとれず、推進体制の工夫が大変だった。

ISO14001で環境保全を図っています

町塵芥処理センター(ごみ焼却場)は、昨年十月十二日、環境にやさしい事業所として認証登録されました。この十月八日には、外部の審査機関により、登録一年後の施設運営状況を確認するための審査が行われました。

その結果、策定した実施マニュアル通りの良好な施設運営が行われているとの高い評価をいただきました。播磨町塵芥処理センターがISO14001を導入して良かったこと、大変だったことは次の通りです。